



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
いはら 忠 ☎(488)7207
市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第235号
2015年9月28日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5
☎(483)1151

学校図書費補正予算で一步前進

27年度予算で小中学校の図書費が年間で2万円という学校が23校（小学校15校。中学校8校）もありました。目が点になるような金額です。日本共産党は、これでは子どもたちが読書の楽しみや調べ学習が十分にできないことを訴え、予算の増額を要求しました。その結果補正予算で23校に最低一律にプラス8万円の予算が計上されることになりました。それでも文科省の基準にはほど遠い予算です。（文科省の教育振興費は一学級当たり小学校なら3万円。中学校なら5万円を目安にしています。小さい阿蘇小でも3×6の18万円。陸中なら5×5の25万円）この基準からみても八千代市の図書費の予算配分はまだまだ低すぎます。

大きな中央図書館さえあれば事足りりとする市政が地域図書館や学校の図書室の充実の妨げになっているとしたら問題です。



教科書採択の会議は密室ではなく公開の場で

今年中学校の教科書の採択の年に当たりました。千葉県の教科書採択は県立千葉中学校や東葛中学校で育鵬社の教科書が非公開で採択されてしまいました。安倍政治は日本を海外で戦争のできる国にするために戦争法を施行し、軍事予算を増やしています。しかし、それだけでは戦争ができません。進んで戦う人間を作らなければ戦争ができません。そのために、安倍首相の歴史認識がそうであるように、日本の子どもたちに「日本の戦争は正しかった」と教え込むために育鵬社の教科書で学ばせようとしています。しかし、国民はそんなことを望んでいません。また、採択方法にも問題があります。千葉市、船橋市、市原市は公開制で採択の会議を行っています。教育権は国民にあるのです。その国民にわかるどころで行わず密室で行っている八千代市の教科書採択を公開の場で行うよう要望しました。

教育長は「現在、八千代市と習志野市は広域採択と言って2市で協議することになっている。しかし、採択は公開の場です」という認識があるので、今後習志野市と協議していく」という回答をしました。公開で行うことは教育委員会の主体的な姿勢が問われ、国民に責任を持つ立場として当然のことです。

教育は何よりも子どもの主体性を育てることであり、一人ひとりの人格が大切にされなければなりません。

また八千代市の教育委員は5名いなければならないところ2名欠員したままになっています。欠員したまま教育委員会の会議が行われていることは異常であり、重大な問題です。このことも至急取り組むよう市長に要望しました。